

井原市公共交通会議（平成 25 年度第 4 回） 会議概要

と き 平成 25 年 11 月 19 日（火）

15 : 00～16:30

ところ 井原市役所 5 階 501・502 会議室

1. 開 会

1) 会議の成立を報告

- ・ 出席者 委員 25 名中 実出席 18 名 代理出席 1 名

2) 三宅会長あいさつ

3) 前回の会議概要説明（事務局）

2. 報 告

各事業の実施状況について

- ・ 事務局説明

質問無し

3. 協 議

住民アンケートの実施について

- ・ 事務局説明

（三宅会長） 委員のみなさんからご質問等はないか。

（委 員） 様々な年代の人に答えていただくアンケートにおいては、設問や選択肢が平明であることが大切。そういった観点からすると、移動時の交通手段に関する設問の選択肢における「鉄道」という表現は、井原鉄道だけを指しているのか、それとも JR を含めているのかわかりにくいので修正してほしい。

（事務局） 趣旨としては、井原鉄道と JR の両方を指しているので、「鉄道（井原鉄道・JR）」という表現に改めたい。

（委 員） 通院先に関する設問の選択肢について、市内には他にも多くの医療機関があるが、16 個の選択肢に絞り込んだ理由は何か。

（事務局） 前回調査ではその他を含め 26 個の選択肢を記載していたが、選択肢の数が多すぎて回答が煩雑になることと、調査票の紙面の都合により、前回調査で特に回答の多かった選択肢に絞り込んだものである。

（委 員） 隣接市町の医療機関が掲載されている一方で、芳井地区の医療機関が 1 箇所も掲載されていない点は修正してはどうか。

（事務局） 前回調査との比較が主な目的であることを鑑み、選択肢とする医療機関については、前回調査と同様に掲載するように修正する。

（委 員） 全体的に、設問が多岐にわたっており、高齢者の方には答えにくいところもあるのでと感ずる。

（三宅会長） 設問が多すぎたり構成が複雑なアンケートは避けるべきであるが、かといって内容の薄いアンケートを行っても、皆さんの本当の意見を窺い知ることはできない。一方で、枠で囲ったり矢印で誘導するなど、回答しやすくするための工夫を事務局にはお願いしたい。

（委 員） 個人票の最後で、今後もアンケート調査に協力してもらえらる人に住所と名前を書

いてもらうようになっているが、他の回答と組み合わせると、だれがどの医療機関で診察を受けているか等の個人情報が出てしまうのは問題ではないか。

(三宅会長) 今後もアンケート調査に協力してもらえ人の住所や名前は、調査票の発送に用いるためだけのものであり、他の設問とを組み合わせ分析することはない。また、回答結果については、「井原市個人情報保護条例」に基づき厳正に取り扱うこととし、本調査の目的以外に使用することはない。

(委員) 「便数・路線などのバスサービスを、今以上に充実させる必要があると思いますか」という設問に対して、「現状のサービス水準の維持が必要と思う」と、「現在の補助額が増えない範囲で維持できるサービス水準で良いと思う」という選択肢が設けてあるが、この2つの違いがよくわからない。

(委員) 同じ箇所を指摘しようと思っていた。事務局を確認するが、この選択肢は、前回調査と同じものか。

(事務局) 同じものである。

(委員) 後者の選択肢で意図していたのは、「バスの走っていないところに新たにバスを走らせると補助額が今より増加するため、補助額が増えない範囲でバスサービスを拡充する一方で、現在バスが走っている路線の沿線ではサービス水準が下がっても仕方がない」ということであったが、わかりにくいと感じる。「必要なサービス水準」を問う設問と、「適正な補助額」を問う設問の2つに分けてはどうか。

(事務局) ご指摘のとおり修正する。

(委員) 井原市内のバスの満足度について、「運行本数が少ない」、「満足度は低い」といったマイナスイメージの問いかけがなされているが、今回調査において、「そう思う」にばかり○印が付く結果が出ては厳しいものがあるが、どうか。

(事務局) ご指摘の懸念はあるが、前回調査と同じ問いかけに対する比較を行いたいので、原案のままとしたい。

(委員) 「バスに乗らない理由」を尋ねる設問において、「バスがどのように運行しているかわからない」という選択肢があるが、時刻がわからないのか、それとも経路がわからないのかで理由が異なると思うので、選択肢を分けてはどうか。

(事務局) ご指摘のとおり修正する。

(委員) 井原鉄道に関する設問は、個人票において尋ねてもよいと思うが、何か意図があるのか。

(事務局) 井原鉄道に関する設問を世帯票の裏面に記載した意図については、個人票はあくまでも前回調査との比較が目的であり、前回調査では尋ねていない井原鉄道に関する設問は、個人票ではなく世帯票において整理したものである。

(三宅会長) 他に、委員のみなさんからご質問等はないか。  
ご質問等がなければ、原案を一部修正のうえ承認してよいか。

委員拍手(協議事項承認)

#### 4. その他

(三宅会長) アンケート調査の結果はいつ頃まとまるのか。

(事務局) 平成26年2月頃に予定している本年度第5回の公共交通会議において報告する予定である。

(委員) 本年度新規事業の「バス体験ワークショップ」について、大変よい取組であると

思うが、参加した児童へのアンケート結果を見ると、低学年には難しすぎたのではとも感じる。今回の取組とは別に、小学校低学年や幼稚園の児童を対象とした「バス体験教室」も開催されているので、対象となる学年を厳密に区分して開催してはどうか。

(事務局) 今後実施する際には、できるだけ4～6年生に限定して開催するようにしたい。また、年度途中からの事業であるため、まだ1回しか開催できていないので、委員の皆さんには本事業の周知をよろしくお願いしたい。

## 5. 閉 会

仁科副会長あいさつ

以上